

WE WANT
SECRET GADGET!

ひみつ道具が欲しい!



「どこでもドア基本法」を 考えてみよう 中村伊知哉

数あるひみつ道具の中でも、どこでもドアは、いつも一番の人気を集めている。仕事に家事に遊びに、毎日忙しく追いまわられる現代人にとって行きたい場所へ瞬時に移動できる未来の道具は、なにより魅力的だ。ところで、どこでもドアが実現したら世の中がどうなるかなんて、想像したことあるだろうか？



まったく不便な世の中ですよ。どこでもドアがない暮らしというのは。通勤電車ですぶされるたびに思いますね。この電車に乗り合わせているおじさんもおばさんも学生さんも、口にこそ出さないけど、あーどこでもドア欲しい、ってみんな思ってるにちがいないんです。

いったい誰が発明したんでしょうかね。未来のこととはいえ、とてつもない技術ですよ。まずはテレポーテーションの機能。最近、ぼくたち21世紀の世界でも、量子テレポーテーションという言葉をよく耳にします。各国の有力大学のほか、アメリカ標準技術研究所、ロスアラモス国立研究所、ベル研究所、IBMなどの物理学者が実験にしのぎを削っているそうです。

でもこれは、テレポーテーションといっても、物質に関する「情報」を送るというもの。ある物質を形成する量子粒子の情報を送って、別の粒子群で再現すれば、元の物体のコピーができるという考え方。まずは量子コンピュータと暗号技術の分野での実用化を目指しているのですが、スタートレックのように、人間を分子に分解して、それを移動させて人間に組み立てる手法は、実現のメドがぜんぜん立っていないわけです。まだまだうんと先の話なんですね。

さらに、インタフェースの技術も衝撃的。ドラえもんやのび太は、ドアを使うときに、しずかちゃんの家だの無人島だの、あいまいな情報をしゃべって命令するじゃないですか。あれを認識して、理解して、きちんと仕事するってのは、超高性能のコンピュータが仕込まれているということ。音声認識と言語理解の能力を格段に高める人工知能の発見があったのでしょうか。

ただ、空間移動の技術が開発されたとしても、まだ課題はありそうです。『のび太の恐竜』や『のび太の宇宙開拓史』では、白亜紀の地図がイ



(TC大長編1巻P78)

ンプットされていないため使用できない事例や10光年以内の星にしか移動できない事例が報告されています。未来の世の中でも、ソフトウェア、ハードウェアともに改良が求められ続けているんでしょうね。

そんなことはいいや。テクノロジーは科学者にお任せします。あらかじめみんな考えておくべきなのは、どこでもドアが実現した場合の対応じゃないでしょうか。便利で楽しい道具ですけど、発明されたころにはきっと社会経済を揺るがす深刻な問題も起こっていると思うからです。偉大な発明って、偉大であるほど、混乱も巻き起こりますからね。

第一に、利用のルール。プライバシー問題が頻発するかも。しずかちゃんは、のび太がいつ風呂場に現れるかわからない状況に慣れちゃったのかなあ。でも、そーゆーのいやがる人も多いはず。どこでもドアで現れるときには、ドアの向こうからノックするとか、お行儀が求められます。

どこでもドア作法教室が必要かな。どこでもドア教本とか、どこでもドア裏ワザ集とか。段位とか出すか。いや、作法や行儀ではすまないですかね。泥棒やテロリストの不法侵入をどう防ぐか。電話の着信拒否のような機能も必要でしょうか。

ドアの開発で儲かる人もいるでしょう。観光業界など。いっぽう、被害にあう人もいますね。航空業界や自動車産業は打撃を受けるはず。実際に、ドアの開発のせいでSL型の宇

宙船は廃止されてますし。業界救済の補助金や税制が求められるかも。

いまのところドラえもんと のび太が独占使用权を有しているようですが、誰でも安く使えるようにするにはどうしたらいいでしょうね。ドラえもんが持っているようなケータイどこでもドアができるまでは、公衆どこでもドアを街角に置いていくんでしょうか。定期券とか発行するのかな。それは国営かな民営かな。運動不足になって肥満が増加するかもしれないですし、外国に行くのにビザやパスポートはどうするんだって国際問題になるかもしれない。

どこでもドアの所管をめぐるって、省庁間の争いも起きますね。現実問題としては、「どこでもドア特区」を設けて、まずは地域限定で実験することになるでしょう。そのうえで、これらへの対応を包括する「どこでもドア基本法」が求められるはず。いやはや大変です。

しかしきっと、そんな深刻な問題も、みんなニコニコしながら議論するんだろうなあ。夢を実現するための努力ですもんね。

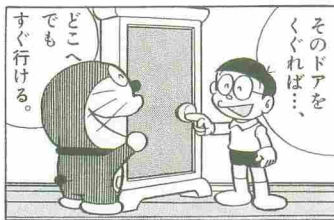
中村伊知哉 (なかむら いちや)
1961年生まれ。京都府出身。スタンフォード日本センター研究所長。デジタル社会の明るい未来を軽妙に語り、インターネットとコンテンツクリエイターの明日のため各種学会に奔走する毎日。その活動はきわめて多岐に渡っている。



(TC20巻P85)

「どこでもドア」使用法

1 ご使用の前に



どこでもドアは、扉を開いてくだけで行きたい場所へすぐに行くことができるひみつ道具です。使用上の注意を守って、退屈なときや遅刻しそうなときなどにお役立てください。

2 行きたい場所を指定するには



ドアを開く前に、行きたい場所を音声で入力してください。ドアの前に立ち「しずちゃんの家へ!」と言えば、入力は完了です。ドアの向こう側は、しずちゃんの家になります。学習機能もついているので「しずちゃんの家」と入力するだけで、しずちゃんの家のお風呂へ行くこともできます。

方角と距離を音声入力して移動することもできます。(TC19巻P186)



こんな場所へ行きたいというイメージを入力することもできます。(TC22巻P186)

実在しない架空の場所を入力して行くこともできます。(TC23巻P115)



3 便利な機能を使いこなすには



ドアノブは時差調整ダイヤルになっています。元の場所へ戻るときにこれを使えば、移動する前の時間に戻ることができます。

(TC大長編12巻P66)

ドアには鍵をかけることができますが、鍵をなくすと元の場所に戻れなくなるがあるので気をつけてください。(TC16巻P140)



4 使用上の注意

●移動した後のことも考えましょう。



移動した場所のことをよく考えてからドアをくぐってください。いきなり危険な場所へ踏み入ってしまうおそれがあります。(TC大長編4巻P33)



宇宙などへ行く場合は特に注意が必要です。(TC19巻p113)

●移動できない場所もあります。



また、どこでもドアのコンピュータには、10光年以上の遠い星や、白亜紀など遠い昔の地図はインプットされていないので、そのような場所では使用しないでください。(TC大長編2巻P15)

●危険! どこでもドアは可燃物です。

どこでもドアは可燃物です。火のそばでは使用しないでください。(TC大長編3巻P71)



●どこでもドアは老朽化します。



古くなったどこでもドアは性能が悪くなっていることがあるので、使用しないでください。(TC45巻P67)

